

ONE の取り組み 2023年度第3四半期

ONE
OCEAN NETWORK EXPRESS

2024年1月31日





1. CEOからのメッセージ
2. 2023年度第3四半期の当社の取り組み
3. 顧客サービス志向
4. オペレーションの優位性
5. グリーン戦略
6. ONEの持続可能性



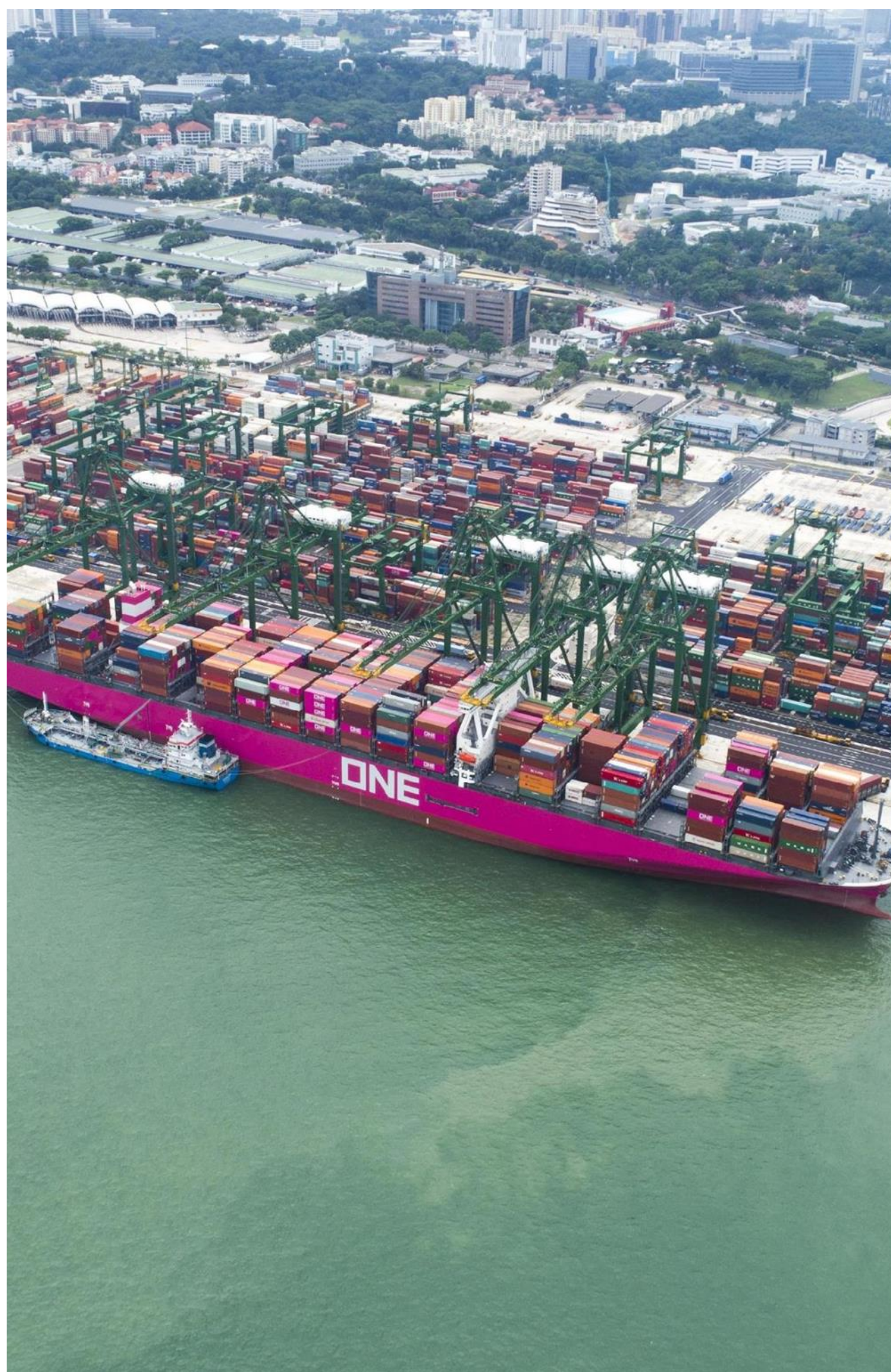
ジェレミー・ニクソン
当社CEO

市場の動向

2024年の北米及び欧州の景気見通しは、ハードランディングを回避できる可能性がでてきたことにより、明るい兆しが見え始めています。また、個人消費も年率成長比較ベースで回復に転じており、これにより前四半期には在庫の補充に前向きな動きが見られました。現在、定期船市場に最も大きな影響を及ぼしている要因は、中東における紛争行為の高まりであり、これが海運業界のスエズルート回避と、より時間がかかる喜望峰経由へのルート変更につながっています。これは、次の四半期にかけて、航海日数とアジア-欧州間及びアジア-北米東岸航路のウィークリーサービスの維持の双方に重大な影響を与える懸念があります。このように当該地域での政治的・軍事的情勢は引き続き懸念されておりますが、船員やお客様の貨物、その他資産へのリスクを最小限に抑えるため、引き続き動向を注視していきます。

オペレーションの留意点

紅海的情勢に加え、長引く干ばつによるパナマ運河の動向にも注視しています。ガトゥン湖の水位は1950年以来、経験したことのないレベルまで低下しました。現在、パナマ運河地域は乾季に突入しており、この状況が改善するのは、残念ながら年の後半になる見込みです。その間、当社は、アジア-北米東岸サービスの一部をスエズ運河経由へ迂回させなければなりません。さらに、最近の紅海における紛争行為により、現在では喜望峰へ迂回させることにしており、これらのサービスはさらに悪化しております。



グローバル・サプライチェーンの予測が不可能であるにもかかわらず、当社はサービス・カバレッジとネットワークの強化に継続的に取り組んでいます。12月末現在、最新鋭の24,000TEU型船6隻がすべて竣工し、アジア-欧州航路に投入されています。2024年は幅広船型の7,000TEU型新造船10隻を順次投入していく予定です。さらに、11月にはロサンゼルス、ロングビーチ及びロッテルダムの3カ所の港のコンテナ・ターミナルへの投資を完了しました。リーファーとドライ・コンテナフリートについても、四半期ごとに新造コンテナを投入し、増強を続けています。

サステナビリティ

当社は、温室効果ガスの排出を削減するための最新技術と燃料ソリューションの導入に向けて取り組んでおり、メタノール二元燃料エンジンを搭載した13,000TEUの新造船の発注、及び2027年の引き受けを発表しました。さらに、アンモニア燃料の使用とゼロエミッション船の技術開発に関して研究を続けています。当社は、燃料基準と炭素価格の点で業界にとって公平な競争条件を設けるため、IMOの行う新たな規制ガイドラインの策定を積極的に奨励・支援します。これには、シンガポールの海上脱炭素グローバルセンターなど、さまざまな団体を通じて業界の横断的な協力も含まれています。

戦略と方針

2022年3月に発表した当社の「中期戦略」及び「グリーン戦略」の実行

- サプライチェーンを支えるコンテナ船社として、高品質で安全なグローバル輸送サービスの提供を継続するため投資を着実に実施してまいります。
- グリーン戦略を当社の最重要経営課題の一つと位置づけ、脱炭素化を始めとした業界の課題に取り組めます。
- デジタル化や運航の効率化、リスク管理を更に強化し、業界トップクラスの収益性と安全性をさらに向上させます。

進捗状況

投資:

- ・ 正栄汽船からの長期傭船24,000TEU 型 6隻のうち3隻が竣工し北欧州航路に投入。これにより全6隻の投入が完了(11-12月)
- ・ Seaspans社からの長期傭船15,000TEU型船1隻、7,000TEU型船2隻が竣工(11月)
- ・ 北米西岸ロサンゼルス港のYTIとTraPac、ロッテルダム港RWG(ロッテルダム・ワールド・ゲートウエー)の株式取得を完了(11月)
- ・ メタノール燃料に対応する二元燃料機関を搭載する13,000TEU型船12隻を発注(12月)
- ・ インドと北米東岸を結ぶ初の自社サービス開設を発表(11月)

環境:

- ・ Econowind社のコンテナ型風力アシスト推進装置を導入し実証実験を実施へ(11月)

安全性:

- ・ P&Iクラブや保険会社、保険ブローカーとロスプリベンションをテーマにしたワークショップをシンガポール本社で開催(11月)

Q3 2023

ONE ECOMMERCE
LATEST UPDATES

e-コマース

当社の e-コマースでは、世界中の試用中のお客様向けに強化された船積予約ユーザーインターフェースなどの新たな機能を発表いたします。現在、試用プログラムを利用されている方は、アップグレードされた予約送信方法を利用することができます。さらに、本年3月末までにグローバル展開することを目指し、すべてのe-コマース利用者に対して、これらの新しい予約機能を順次導入していく予定です。

刷新した船積予約ユーザーインターフェース

- **パターン予約** : お客様の嗜好が重要です。e-コマースでは、よく利用されるルートや貨物詳細を表示し、船積予約の申込と完了をスピードアップさせます。
- **ナビゲーションの簡素化** : シームレスが鍵です。インターフェースが新しくなり、船積予約プロセスが簡単になります。
- **応答性の高いデザイン** : いかなるデバイスでも表示一貫性を確保します。パソコン、タブレット、スマートフォン、応答性の高いデザインにより一貫した e-コマース体験をお約束します。



電子決済

当社の電子決済プラットフォームは、現在、7か国のお客様に対応しています。すなわち、シンガポール、香港、タイ、インドネシア、インド、中国及びマレーシアです。当社は、すべてのお客様にシームレスな体験をお約束するため、オンライン決済サービスの強化に取り組んでいます。今後は、2024年度第3四半期までに、ベトナム、オーストラリア、韓国、ガーナ及びコートジボワールにサービスを拡大する予定です。当社は、お客様の決済の更なる利便性向上を目指してまいりますので、サービス拡大に関する最新情報にご注目ください。

電子船荷証券 (eBL)

また、最近発表されたDCSA (Digital Container Shipping Association : デジタルコンテナ船荷証券協会) による、すべての船荷証券を電子船荷証券 (eBL) に転換する取り組みと連動して、当社はこの取り組みを促進するため、積極的にお客様に働きかけていきます。この取り組みを通じ、お客様はそのメリットをいち早く享受するものと思われまます。当社は昨年よりすべての関係者の扱う書類を簡素化し、お客様に電子船荷証券を提供することで、炭素ガス排出量を削減しています。2030年までに電子船荷証券の100%の導入を達成するため、その発行数を前年比で着実に増やしていく予定です。この重要な取り組みにおいて、お客様をはじめとする関係者の皆様とパートナーシップを結べることを楽しみにしております。詳細は[こちら](#)をご覧ください！

サービス品質の向上

当社は顧客サービス向上の責務の一環として、チャットサービスを継続的に改善しています。当社のカスタマー・ケア・エージェントは、予約の変更でも、船舶のポジションでも、ボタンをクリックするだけで、数秒で質問にお答えします。（国や地域により、特定のサービスメニューをemailやwebsiteなど、チャット以外のチャンネルを織り交せて対応する場合がございます。）

先般、一部の国でチャットメニューの更新をしました。新しいメニューでは、より直感的な閲覧操作とカスタマー・ケア・エージェントとの迅速なコンタクトが可能になりました。この新たなメニューは、他の国々にも順次拡大していく予定です。

当社は、ライブチャット・エージェントとチャットボットを最適に組み合わせることを目標としており、お客様の質問に迅速に答えるために適切な組み合わせをオーダーメイドのように作り上げていきます。このチャット戦略により、お客様が必要とする情報又はサービスへの最速かつ効率的なアクセスを提供することができます。

当社は、返却延滞料及び超過保管料（Detention & Demurrage）に関するチャットボットを昨年発表しましたが、これは世界中で広く利用されています。近日中にも為替レートに関するチャットボットを発表する予定です。最高の顧客サービスを提供するため、皆様からのフィードバックやご提案をお待ちしております。



WIN サービス：インド西岸 – 北米東岸

西インド北米間サービス (WIN)：インド亜大陸市場における当社のサービスをさらに強化します。

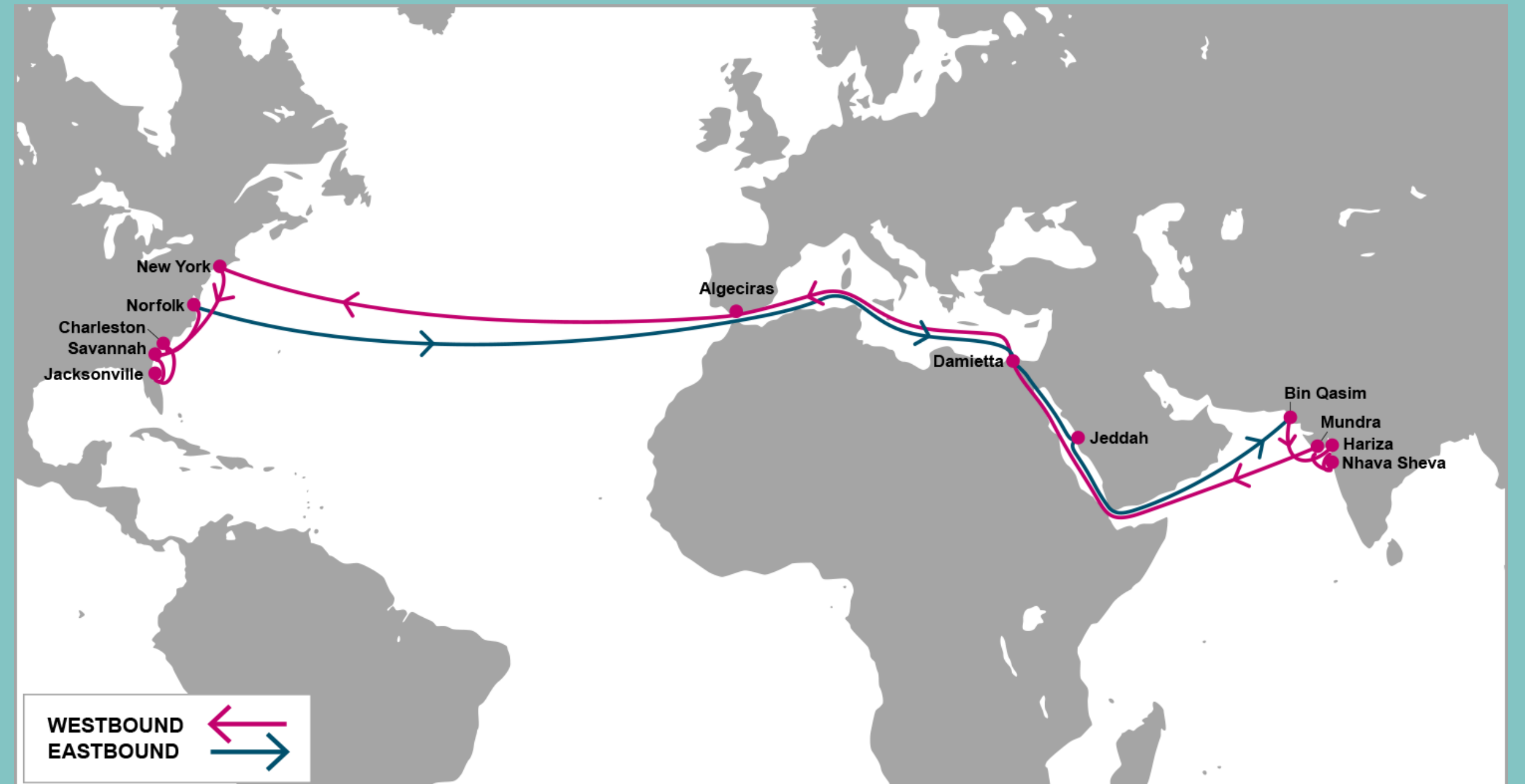
ローテーション：

ビン・カシム - ハジラ - ナバシェバ - ムンドラ - ダミエッタ - アルヘシラス - ニューヨーク - サバンナ - ジャクソンビル - チャールストン - ノーフォーク - ダミエッタ - ジェッダ - ビン・カシム

サービス頻度：ウィークリーサービス

2024年5月、ビン・カシムから出航予定
(詳細は別途お知らせします)

サービスの詳細は [こちら](#)



ELT サービス : エジプト - レバノン - トルコ

エジプト - レバノン - トルコ間サービス(ELT) : 欧州地域のサービス・カバレッジを強化し、ダミエッタ - バイルート及び 이스ケンデルンへの直行便を提供します。

ローテーション :

ダミエッタ - バイルート - 이스ケンデルン - ダミエッタ

サービス頻度 : ウィークリーサービス

2024年1月6日、ダミエッタから出航

サービスの詳細は [こちら](#)



SIG サービス：東南アジア — インド — ペルシャ湾

新たな東南アジア - インド湾岸 (SIG) 間サービス：東南アジア・インド西岸と中東間においてより頻度の高い包括的なサービスを提供します。

ローテーション：

シンガポール - ナバシェバ - ムンドラ - ダンマン -
ジェベル・アリ - コーチン - コロンボ - シンガポール

サービス頻度：ウィークリーサービス

2023年11月16日、シンガポールから出航

サービスの詳細は [こちら](#)



TSX サービス： タイ – シンガポール

新たなタイ - シンガポール間エクスプレスサービス (TSX) : 新たな専用シャトルサービスは、タイ - シンガポール間の高速輸送を提供し、アジア - ヨーロッパ間の輸送時間を短縮します。

ローテーション :

レムチャバン - シンガポール - レムチャバン

サービス頻度 : ウィークリーサービス

2023年11月14日 レム・チャバンから出航

サービスの詳細は [こちら](#)





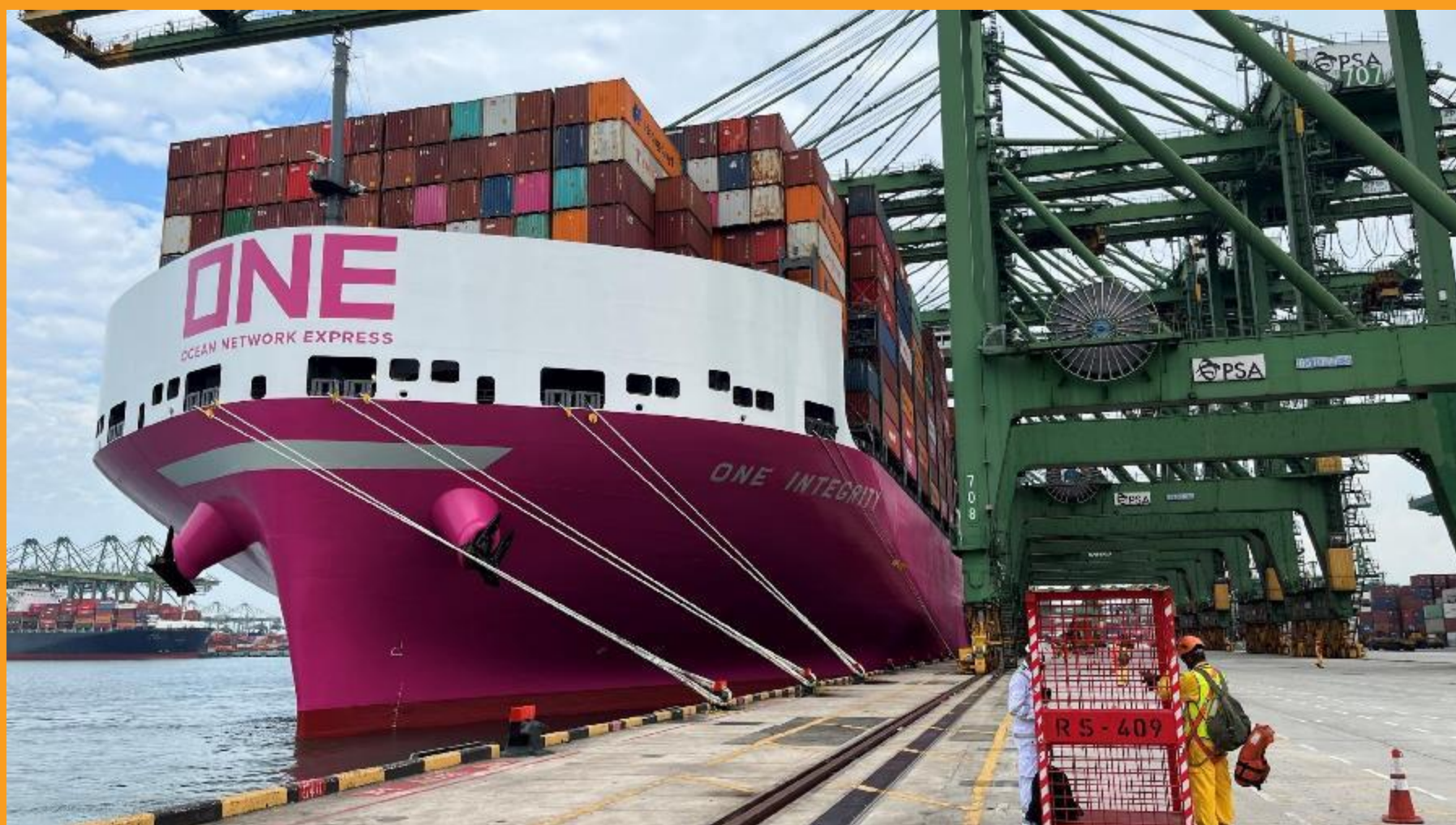
北米及び欧州におけるターミナルの株式取得

当社は、必要とされる当局の許認可のすべてを取得し、TraPac LLC社（以下「TraPac」）及びYusen Terminals LLC社（以下「YTI」）の各株式の51%並びにRotterdam World Gateway社（以下「RWG」）の株式の20%の取得を完了しました。

これらの株式取得は、世界的なサプライチェーンにおける当社の存在感を強化することに加えて、主要且つ戦略的なゲートウェイにおけるターミナル機能を保有し、当社の成長をサポートし、且つお客様へのサービス提供を強化するものです。

これらの株式取得は、継続的に事業投資を行う当社の中期戦略の一つです。コンテナターミナルは、さまざまな混乱の影響を緩和する機能を備えており、サプライチェーンにおいて重要です。当社は、これらのターミナルを活用することでお客様のサプライチェーンの混乱に対処し、またサービス品質を向上できるよう支援します。さらに、これらのターミナル資産により、すべてのお客様に迅速で信頼性のあるサービスを提供いたします。

これら3ターミナルの株式取得の完了により、当社は米国西岸（TraPac、YTI）、北ヨーロッパ（RWG）、東南アジア（Magenta Singapore Terminal）の3つの重要な戦略拠点で強力なプレゼンスを確立しました。



進行中の当社船団のアップグレード

当社は、2023年度第3四半期に新たに6隻の船舶の運航を開始しました。

- ONE INGENUITY 24,136TEU 今治造船(丸亀)で建造
- ONE INSPIRATION 24,136TEU ジャパン マリンユナイテッド(呉)で建造
- ONE INTELLIGENCE 24,136TEU 今治造船(西条)で建造
- ONE FANTASTIC 15,516TEU 滬東中華造船で建造
- ONE READINESS 7,000TEU 上海外高桥造船で建造
- ONE REASSURANCE 7,000TEU 上海外高桥造船で建造

これらの船舶は、新しい設計と共に高い性能を備えており、当社のオペレーションの優位性を高めることが期待されています。



電子バンカー・デリバリー・ノート (e-BDN) の試行

当社は、電子バンカー・デリバリー・ノート (e-BDN) を導入するため、シンガポール海事港湾庁 (MPA) の支援のもと、Shell社との直近のトライアルを成功させ、デジタル化への取り組みを加速させています。

Angsana Technology社が開発したデジタル・バンキング・ソリューションを使用したe-BDNトライアルは、2023年9月9日にシンガポール港において実施されました。カーゴ・オフィサーとサーベイヤーは、本船ONE Truthにて電子的にバンキング書類を完成させました。

当社はこれまで、パートナーとともにe-BDNのトライアルを数回実施してきました。2023年7月のMEPC80において、国際海事機関 (IMO) は、MARPOL Annex VIの関連要件を満たすことを条件に、ハードコピーおよびデジタル形式のバンカー・デリバリー・ノート (BDN) の受け入れを承認しました。

当社とShell社によるe-BDNの試行は、MPAによるデジタル・バンキング・イニシアチブの立ち上げに先立つものです。2023年11月1日から始まった手続と書類の電子バンキングの導入は、バンカー業界において大幅な工数削減が期待されています。

持続可能な海運の未来に向け、風力推進試験を開始



当社は、海運の持続可能なソリューションとして風力推進の可能性を追求する新しいトライアル開始を発表しました。当社運航船Kalamazooに2基のコンテナ型風力アシスト装置VentoFoil（ヴェントフォイル）を設置しています。

飛行機の翼に似た形状を有する「VentoFoil」は、風力エネルギーを利用するように設計されており、燃料消費と温室効果ガスの排出量を大幅に削減します。空気の流れを最適化し、推力を最大化するスマートサクションシステムを搭載しており、最大400kWの発電能力を有し、燃料消費量を5%削減します。「VentoFoil」は風速と風向きに応じて全自動で作動しますが、本船のブリッジから起動できます。

エコノウィンド社とのこのトライアルは、海運での革新的で持続可能なソリューションを模索する当社の取り組みにおける重要な一歩です。

MAGENTA
GOES GREEN

グローバルな取り組み

乳がん啓発月間、ONEをピンクに染める

10月の乳がん啓発月間を記念して、世界中の900人以上の当社の従業員が、バザーや募金活動からピンクリボンウォークまで、さまざまな活動に参加しました。

#SpreadingcheerasONE キャンペーン

世界各地の当社オフィスは、毎年恒例となっている#spreadingcheerasONEキャンペーンを通じて、ホリデーシーズンに慈善活動を行いました。さまざまな団体と協力し、ボランティアとして自分たちの周りのコミュニティに笑顔をもたらしました。

キャンペーンの概要:

- シンガポール本部 : PSAシンガポールと協力し、Oasis@Outram デイ・ホスピスの入居者に、アートやクラフト、お祝いのランチを提供し、また、クリスマスキャロルを歌い、楽しんでいただきました。
- 中国 : アミティ財団の知的障害のある若者たちと一緒にクッキーを焼きました。
- エクアドル : 家庭内暴力の防止とその被害を受けた子どもや家族のケアを目的とするジュコニ財団の子どもたちとともに、ボウリング大会を開き、楽しい午後のひとときを過ごしました。
- ポルトガル : 持続可能なクリスマス・マーケットを開催し、その収益を地域の子供たちや青少年を支援するバゴス・ドウオロに寄付しました。
- フィリピン : 小児がん患者のための無料シェルター「ベイハイ・アルーガ」を訪問し、生活必需品を寄付しました。
- 米国 : 「レイクアップ・クラッドウェル」というイベントにボランティアとして参加し、高齢者や障がい者が行う施設内の落ち葉掃きなどの清掃活動を手伝いました。





ONEのグローバルオフィスにおけるCSR活動

当社は、2018年の事業開始以来、世界中で幅広いCSR活動に取り組んできました。当社は、責任ある持続可能なグローバル企業として、地域社会にさまざまな貢献をしています。2023年10月から12月までの間に、3,310人以上の従業員が数多くの価値ある活動に参加しました。

注目すべき取り組みとイベント：

- シンガポール本部：当社は SG Cares Giving Week 2023 のゴールド・パートナーに認定されました。PSAシンガポールと当社は、聖ルカ高齢者介護施設、HCAホスピス及びザ・ヘイブンの入居者にお弁当を届けました。今年も引き続きCareCornerSG SCCをサポートし、工作キットやお楽しみ袋を配って支援を続けていきます。
- 日本：海外の子どもへ寄贈用車椅子の清掃並びに整備活動を行いました。
- 中国：中国盲導犬訓練施設を訪問し、ドッグフードなどの必要な食料を提供しました。
- オーストラリア：世界メンタルヘルス・デー2023を支援し、*Beyond Blue*の講演者によるメンタルヘルス啓発セッションを実施しました。
- ケニア：*Calvary Zion Children's Home*に生活必需品を寄贈しました。
- マレーシア：昨年引き続きAWETAがシャー・アラムの恵まれない人々に食料と洗面用具を配付する活動を支援しました。
- メキシコ：がんを患っている子どもたちのケアプログラムを支援する*Banco de Tapitas A.C.*と共に、97kgのプラスチック・キャップを回収し、リサイクルしました。
- オランダ：*ISC the Bridge*への寄付を通じて船員の福祉への支援をしました。
- 世界中で：*Idaho food bank*, *Mississauga Food Banks*, *Les Restaurants du Coeur*, *Toys for Tots* and *The Salvation Army*などの団体を支援するため、食料品などを寄贈しました。



NParks シンガポールよるヘリテージ・ツリーの寄贈

シスターズ・アイランド海洋公園における国立公園局のプロジェクトに対する当社の支援が評価され、ヘリテージ・ツリーが当社に寄贈されました。2023年11月25日、シンガポールのデズモンド・リー国家開発大臣から、和気航志郎(Senior Vice President of Corporate Strategy and Sustainability) にピンク・メンパット(*Cratoxylum formosum*) の額縁入りの写真が贈呈されました。ピンク・メンパットは東南アジア原産で、シンガポールでもよく見られ、繊細なピンク色の花と鮮やかな新緑で知られています。

本件に関し、和気Senior Vice Presidentは、「ヘリテージ・ツリーは希望と回復力を象徴するもので、自然の永続的な美しさと緑地を保護することの重要性を体現しています。今日我々はピンクメンパットヘリテージツリーの寄贈を受けることができ、光栄に思います。その繊細なピンクの花びらは、当社のコーポレートカラーであるマゼンタと共鳴しており、大切なシンボルとなっています。」、更に「このヘリテージ・ツリーが成長し、花を咲かせるにつれて、持続可能性と環境保護の重要性を常に思い出させ、私たちのコミュニティがすべての人にとってより住みやすい場所になるよう、みなさんが私たちと共に行動するきっかけとなることを願っています。」と述べています。

当社は、私たちの持続的なパートナーシップと事業を展開する地域社会の環境を守る責務の証として、今回の寄贈を謹んでお受けします。



ありがとうございました

www.one-line.com